

後援会だより(第11号)



～夏の思い出コンサート後援会～ ホームページ<http://summermemocon.com/supporter/>

夏の思い出コンサート後援会の趣旨にご賛同いただきありがとうございます。ごさいます。

今年8月18日(土)にあいれふホールで開催された「第11回夏の思い出コンサート」も皆様のおかげをもちまして盛会のうちに終演することができ、厚く御礼を申し上げます。

今回は「各地の自治体職員有志によるコンサートの会」に賛助出演いただき多彩な演奏を披露していただき、翌19日(日)には福岡市職員音楽会実行委員会と共催にて熊本地震の益城町と九州北部豪雨の朝倉市で「復興応援コンサート」を開催しました。

今後ともご支援をたまわりますようよろしくお願いいたします。



♪後援会会長あいさつ 轟田 徹

今年の「夏の思い出コンサート」は、入場者がこれまでの最高の230人となりました。アンケートを見せていただいても、リピーターが多いのに嬉しく思っています。

今年、この夏の思い出コンサートを始めてから11年が経過し、ひと時代が過ぎています。今年のコンサートを観て感じたことの一つに、出演された人の技術力の高さです。その技術力の向上には、毎日たゆまぬ練習をされていることと思いました。その毎日の努力に敬意を表する次第です。その毎日の努力が出演される人たちのあの素晴らしい感動のパフォーマンスに繋がっているのだと思います。

今年のコンサートの開会式の挨拶でも申しましたが、ピアニストのフジコ・ヘミングの大好きな音楽、ベストテンが雑誌に載っていました。ラフマニノフの「ピアノ協奏曲第三番」、ガーシュインの「サマータイム」、ドビュッシーの交響曲「海」、石川さゆりが歌う「天城越え」などです。彼女の好きな音楽は、「生きている喜びを運んでくれる曲」と言っています。

八月のコンサートで、生きている喜びを運んでいただき感謝しているところです。

私も数十年ぶりにギターを取り出して、弦を買いに行き、弦を張る部品を調整したりして、調弦しました。調弦には、なんとネットで無料の調弦ソフトウェアがあるのには驚きました。時代の趨勢を感じました。

しかし、その時代の趨勢は、私の指を動かなくしてしまっていて、きつい再スタートです。生きる喜びを運んでもらうために、しばらく取り組んでみたいと思っています。皆さんも是非、家族やお友達を誘って、コンサートを見に来て、この夏コンの支援をしていただき、大きな輪の小さな幸せの仲間になってください。



♪第11回夏の思い出コンサート出演者からのメッセージ

はじめの一步 ～2つのコンサートに出演して～

これまで、受付スタッフとして職員音楽会に参加させていただいていましたが、今回は出演者としての初めての舞台でした。たくさんの方からピアノ伴奏のお誘いをいただき、皆様と一緒に練習を重ねて無事本番を迎えることが出来ました。ありがとうございました。「夏の思い出コンサート」はまさに楽しい思い出となりましたが、翌日の「復興応援コンサート」は心により深く刻まれる貴重な経験となりました。

私はここ数年、各地で大きな災害が起こる度、何か力になりたいと思うばかりでなかなか行動に移すことができない自分に不甲斐なさを感じていました。今回、初めて被災地に足を運び、微力ながら音楽を通して復興応援に関わることが出来たこの経験は、私にとって大きな一歩となりました。演奏中に住民の皆様と一緒に口ずさんでくださった歌声や私たちへのまなざし、優しい笑顔はどれも胸を打ち、忘れることが出来ません。

一方で、まだまだ深く残る災害の爪痕を目の当たりにし、息の長い支援が必要であることも再認識しました。ハード面の復旧だけでなく、大変な思いをされた住民の皆様が少しでも安らぎを感じていただけるよう心の復興も大切に、応援し続けたいと改めて感じました。

昨年の九州北部豪雨の際に受講した「災害ボランティア講習」の中で、タイミングごとに必要な支援は変わっていくこと、また、直接支援だけが善意を告げる唯一の方法ではないことを学びました。募金も、可能な限りで状況を伝えることも、考えることも、忘れないことも全て被災地支援になるのだと、大切なことを教えていただきました。私たちのコンサートが、被災された方々の心の復興の一助となれば幸いです。それと同時に「何か力になりたい」と思う方々にとっても、被災された方々のことをいつまでも忘れない、応援し続けるための会としてあり続けられたらと思います。

最後になりますが、職員音楽会を通して広がっていく多くの方々とのご縁に感謝します。ありがとうございました。

市長室秘書課 下川 侑子



コンサートのお知らせ

北海道胆振東部地震チャリティコンサート(福岡市職員音楽会)

開催日：平成30年12月15日(土)
13時開場 13時30分開演

会場：大名クロスガーデン礼拝堂
(福岡市中央区大名1丁目12-7)

主催：福岡市職員音楽会実行委員会

後援：福岡市・夏の思い出コンサート後援会

入場料：無料(ただし、チャリティコンサートとして本番当日、会場入口に募金箱を設置させていただきます。)

♪第11回夏の思い出コンサートのご来場者からのアンケートより

- ♪ 下川華奈さんの演奏素晴らしいかったです。プロでは?と思いました。来年も是非聞かせてください。楽しみにしています。
- ♪ 宮本さん痛みのある中、素晴らしい演奏ありがとうございました。12回も楽しみにしています。田村さんのピアノソナタ完璧でした。か細い下川さんの力強い演奏に驚かされました。
- ♪ 音楽が身近に感じることができて、心が豊かになります。復興支援もなされていて、本当に素晴らしい!!音楽のちからを感じます。中西さんの司会も素晴らしい!話をうまく引き出してくれる。
- ♪ 全国通津浦の復興応援コンサートのつながりが、こんなに広がっているのですね。頑張っていけますように。
- ♪ 音楽を生演奏しめるのは、なんてステキなことだと思います。初めて新聞をみち参加しました。来年は孫をつれてきたいと思います。
- ♪ 音楽で自治体職員がつながるってすごいなあ、いいなあと思いました。仕事以外でも私もがんばりたいと思いました。
- ♪ 受付の女性の笑顔と案内がすはらしく、入場時から気持ち良く、入場出来、受付の方達ご感謝したい。
- ♪ お仕事をされている中でこれだけの技術をお持ちの方、本当によくがんばっていらっしゃいます。せめて発表会でいっぱい応援させていただきます。
- ♪ 仕事の合間に、それぞれコンサートに向け又ボランティア等されているのを初めて知りました。
- ♪ ダンシングメクweenをアカペラのコーラスは初めて聞いて手すきでした。ポレロ・バレエ曲がステキで、ここで生で聴くとはプロです。
- ♪ 他自治体からの参加がよかった。福岡の皆様の評価があったればこそだ。OBとして嬉しい。
- ♪ “夏の思い出コンサート”すばらしいかったです。皆さん!来年も是非聞きに来たいと思いました。
- ♪ 他県の行政畑の方々もたくさん賛助出演!!素晴らしい、暑気払い!!になりました。
- ♪ 多数での日本舞踊以外でした。ゆかたに帯、扇の色等、涼やかで良い気持ちになりました。
- ♪ 福岡市職員から他自治体への広がりがすばらしい。井料田さんのご努力に感動します。
- ♪ 大変だったと思います。ほとんど全国規模こびっくりしました。
- ♪ この時間に企画されるのが一番良いです。楽しい気分のまま夕飯支度ができます。
- ♪ いろいろなところから集まってたくさんの方の演奏が聴けてよかったです。
- ♪ 一部のねこバス6手連弾が始めて聞きました。とても珍しいですね。
- ♪ 365日の紙飛行機、心にジーンとくるすばらしい演奏でした。涙がにじみました。
- ♪ 本業ではない素人さんばかりとはいえセミプロのような方々の演奏に暑さを忘れました。
- ♪ 多種多様でアットホームな感じがよかった。完璧でないところがよかった。
- ♪ みんなでポレロ良かったです。各地のコンサート頑張ってください。
- ♪ 合唱・合奏がたくさんあってわくわくしました。構成・企画満点だったと思います。
- ♪ 他の自治体の方とのコラボもとてもよかったです。音楽の力はすごいなと思いました。
- ♪ 他の地域の方の参加もあって、これからもこの企画は続けてほしいと思います。
- ♪ 司会の中西さんの温かい気配りに感心。さすがプロを実感。
- ♪ 上尾市の荒井さんの演奏はシロウトとは思えない迫力。
- ♪ 皆の一生懸命さが心地よく伝わりました。素晴らしい演奏ありがとうございました。
- ♪ 来年も待っていますからヨ!素晴らしい演奏を期待していますよ!
- ♪ 皆さま良く練習されていて熱心さが伝わりました。



♪賛助出演の「各地の自治体職員有志によるコンサートの会」メンバーからのメッセージ

今回はお誘いいただきありがとうございました。最初にお誘いを受けた時、「参加しよう」と即決しました。真庭市役所音楽クラブメンバーに声をかけたところ、総勢9名大所帯での参加となりました。

8月18日、朝4時に真庭を出発し、どうなることかと思いましたが、途中の関門海峡に興奮しつつ、約6時間で福岡市に到着。寝不足でのリハーサル。諫早市笹口さんと22年ぶりの合奏。そして本番。あいれふホールはすごくいいホールでとても吹きやすかったです。

すごくハードですごく楽しい1日でした。(アンケートでよかった曲に「365日」と書いてくださった人がいました。感謝。)

19日は、復興応援コンサート。“音楽で癒しや安らぎを、私たちは皆様の心の復興を応援します”のコンセプトどおり「音楽」っていいなあ。を再認識しました。

益城町でも、朝倉市でも開始時には、ポツポツだったお客様も、時間がたつにつれ、音楽が聞こえるにつれ、少しずつ集まってくださり、最後には大勢の方の前で演奏することができ、皆さんに喜んでいただけたのではと思っています。

これからも、「コンサートの会」の活動に関して一緒に頑張っていきたいと思っています。

これからもよろしく願いいたします。

真庭市 南 俊樹

○18日賛助出演については、まずもって、いち自治体の職員が次から次へと演奏を披露する場がある、ということに大変驚かされました。企画の作成、スタッフの確保、当日の運営など、オーガナイズが手馴れていて、タイトな進行にもかかわらず出演者も含め円滑な動きであったことに感心しました。

賛助出演として参加した立場からは、阿吽の呼吸で完成されている流れについていくことの難しさがなくはなかったのですが、それでもステージに乗るものとして持つ心がけがあれば十分こなせる範囲でした。

福岡市職員音楽会は、市職員同士の部署や世代を超えた交流の場であり、公務員としてできることがここまで豊かにアピールできることを嬉しく思いました。

○19日復興応援コンサートについては、観客の多寡にかかわらず続けていくべき事業と思いました。今回のような目的の演奏会で常に感じることは、演奏できる曲目、演奏したい曲目、聴きたい曲目のすり合わせに関して、どこに重きを置くか、ニーズに合っているか、押し付けになってはいないか……などいろいろと考えさせられます。1日2回のコンサートはやはりハードでしたが、2回とも(MCも含め)自然なムードが醸し出された時間を提供できたのではないかと、各奏者の最もいいところ(人間性)が表現できたのではないかと感じました。

佐賀県庁 橋口 泰史